

IBM InfoSphere Information Server
バージョン 11 リリース 3

**IBM InfoSphere Information
Server Netezza Connector
メッセージ・リファレンス**



IBM InfoSphere Information Server
バージョン 11 リリース 3

**IBM InfoSphere Information
Server Netezza Connector
メッセージ・リファレンス**



お願い

本書および本書で紹介する製品をご使用になる前に、29 ページの『特記事項および商標』に記載されている情報をお読みください。

お客様の環境によっては、資料中の円記号がバックスラッシュと表示されたり、バックスラッシュが円記号と表示されたりする場合があります。

原典： SC19-4347-00

IBM InfoSphere Information Server Version 11 Release 3

IBM InfoSphere Information Server

Netezza Connector Message Reference

発行： 日本アイ・ビー・エム株式会社

担当： トランスレーション・サービス・センター

© Copyright IBM Corporation 2013, 2014.

目次

Netezza Connector メッセージ	1	付録 E. 製品資料へのアクセス	25
付録 A. 製品のアクセシビリティ	17	付録 F. 製品資料に関するフィードバック の提供	27
付録 B. コマンド・ライン構文の読み方	19	特記事項および商標	29
付録 C. 構文図の見方	21	索引	35
付録 D. IBM の窓口	23		

Netezza Connector メッセージ

このメッセージ・リファレンスには、Netezza Connector によって返されるメッセージが記載されています。

Netezza Connector がインストールされているオペレーティング・システムの機能を熟知している必要があります。本メッセージ・リファレンスの情報を使用して、エラーや警告を特定し、適切なリカバリー・アクションによって問題を解決することができます。また、この情報を使用して、メッセージが生成され記録される場所を確認できます。

コネクタによって、RDBMS エラー、ファイルの読み取りと書き込み、および製品の一般的な使用に関連するメッセージが生成されます。

各メッセージには、接頭部 (IIS) とメッセージ番号から構成されるメッセージ ID があります。メッセージは、メッセージ番号に基づいて番号順にリストされています。メッセージ・タイプには、エラー、警告、および通知の 3 種類があります。E で終わるメッセージ ID は、エラー・メッセージです。W で終わるメッセージは警告を示します。I で終わるメッセージは通知メッセージを示しています。

メッセージ中にある {0} 記号は、コードによって返される変数を示しています。この変数は、生成されたメッセージに固有の値またはプロパティーのいずれかを示しています。

エラーの詳細は、IBM® InfoSphere™ DataStage® and QualityStage™ Director クライアントのログ・ファイルで確認できます。

IIS-CONN-NZ-01000E DSN *DSN_name* を使用し、ユーザー *user_name* を指定してデータベース *database_name* に接続しようとして失敗しました。理由: *Reason*

説明: DSN *DSN_name* への接続が、理由 *Reason* で失敗しました。

ユーザーの処置: ユーザー名、パスワード、および DSN パラメーターが有効であることを確認してください。

詳細については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01001E 予期しない ODBC エラーが発生しました。理由: *Reason*

説明: ODBC API 関数が理由 *Reason* で失敗しました。

ユーザーの処置: ジョブ・プロパティーに対して設定した値が有効であることを確認してください。ジョブ・プ

ロパティーが正しく設定されている場合は、ジョブをリコンパイルしてください。

エラーが引き続き発生する場合は、ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要がある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01002E ODBC 環境の初期化に失敗しました。理由: Reason

説明: コネクタが、理由 *Reason* で ODBC API の初期化に失敗しました。

ユーザーの処置: ライブラリー・パスのセットアップが正しいことを確認してください。

エラーが引き続き発生する場合は、ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできません。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01003E ODBC 環境ハンドルの割り振りに失敗しました。使用している ODBC ドライバー・マネージャーの構成を確認してください

説明: コネクタが、ODBC API の初期化に失敗しました。

ユーザーの処置: ライブラリー・パスのセットアップが正しいことを確認してください。

エラーが引き続き発生する場合は、ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできません。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョ

ブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01004E SQL ステートメントの実行に失敗しました: pipe_name。理由: error_code

説明: コネクタが、エラー・コード *error_code* で *pipe_name* という名前のパイプの作成に失敗しました。

ユーザーの処置: 同じ名前のパイプがまだ存在していないことを確認してください。ユーザーが、コネクタによって名前付きパイプが作成されるディレクトリーに合った正しいアクセス権を持っていることを確認してください。

エラーが引き続き発生する場合は、ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできません。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01007E 名前付きパイプ pipe_name は作成されませんでした。次のエラー・コードが生成されました: error_code

説明: コネクタが、エラー・コード *error_code* で *pipe_name* という名前のパイプの作成に失敗しました。

ユーザーの処置: 同じ名前のパイプがまだ存在していないことを確認してください。ユーザーが、コネクタによって名前付きパイプが作成されるディレクトリーに合った正しいアクセス権を持っていることを確認してください。

エラーが引き続き発生する場合は、ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポー

トに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできません。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01008E 名前付きパイプ *pipe_name* への接続に失敗しました。エラー・コード: *error_code*

説明: コネクターが、エラー・コード *error_code* で *pipe_name* という名前のパイプへの接続に失敗しました。

ユーザーの処置: 他のエラーが報告されたかどうかを確認してください。他のエラーが報告された場合、Netezza は、指定したか生成された SQL ステートメントの問題が原因でパイプの反対側に接続できなかった可能性があります。

エラーが引き続き発生する場合は、ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできません。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01009E 名前付きパイプ *pipe_name* のクローズに失敗しました。エラー・コード: *error_code*

説明: コネクターが、エラー・コード *error_code* で *pipe_name* という名前のパイプのクローズに失敗しました。

ユーザーの処置: これは予期しないエラーです。

ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01010E 名前付きパイプ *pipe_name* への書き込みに失敗しました。エラー・コード: *error_code*

説明: コネクターが、エラー・コード *error_code* で *pipe_name* という名前のパイプの切断に失敗しました。

ユーザーの処置: これは予期しないエラーです。

ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

は、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01011E コネクターは名前付きパイプ *pipe_name* を切断できませんでした。次のエラー・コードが生成されました:
error_code

説明: コネクターが、エラー・コード *error_code* で *pipe_name* という名前のパイプの切断に失敗しました。

ユーザーの処置: これは予期しないエラーです。

ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01015E 内部エラーが発生しました。
NULL の引数 *Argument_name*

説明: 内部エラーが発生しました。引数 *Argument_name* を NULL にすることはできません。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを

.isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01016E 内部エラーが発生しました

説明: 予期しない内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01017E データ・タイプ *Data_type* は Netezza でサポートされていません。

説明: 報告されたデータ・タイプ *Data_type* は Netezza でサポートされていません。

ユーザーの処置: エラーが発生した列のデータ・タイプを、サポートされるいずれかのタイプに変更するか、その列をリンクから削除してください。サポートされるデータ・タイプの詳細については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」を参照してください。

IIS-CONN-NZ-01018E 年フォーマットが無効です。

説明: コネクターが、日付フィールドまたはタイム・スタンプ・フィールドで無効な年フォーマットを受信しました。

ユーザーの処置: 入力リンクのデータ・タイプが、照会によって返されるデータ・タイプと一致するようにしてください。

IIS-CONN-NZ-01019E 月フォーマットが無効です。

説明: コネクタが、日付フィールドまたはタイム・スタンプ・フィールドで無効な月フォーマットを受信しました。

ユーザーの処置: 入力リンクのデータ・タイプが、照会によって返されるデータ・タイプと一致するようにしてください。

IIS-CONN-NZ-01020E 日フォーマットが無効です。

説明: コネクタが、日付フィールドまたはタイム・スタンプ・フィールドで無効な日フォーマットを受信しました。

ユーザーの処置: 入力リンクのデータ・タイプが、照会によって返されるデータ・タイプと一致するようにしてください。

IIS-CONN-NZ-01021E 時間フォーマットが無効です。

説明: コネクタが、時刻フィールドまたはタイム・スタンプ・フィールドで無効な時間フォーマットを受信しました。

ユーザーの処置: 入力リンクのデータ・タイプが、照会によって返されるデータ・タイプと一致するようにしてください。

IIS-CONN-NZ-01022E 分フォーマットが無効です。

説明: コネクタが、時刻フィールドまたはタイム・スタンプ・フィールドで無効な分フォーマットを受信しました。

ユーザーの処置: 入力リンクのデータ・タイプが、照会によって返されるデータ・タイプと一致するようにしてください。

IIS-CONN-NZ-01023E 秒フォーマットが無効です。

説明: コネクタが、時刻フィールドまたはタイム・スタンプ・フィールドで無効な秒フォーマットを受信しました。

ユーザーの処置: 入力リンクのデータ・タイプが、照会によって返されるデータ・タイプと一致するようにしてください。

IIS-CONN-NZ-01024E マイクロ秒フォーマットが無効です。

説明: コネクタが、時刻フィールドまたはタイム・スタンプ・フィールドで無効なマイクロ秒フォーマットを受信しました。

ユーザーの処置: 入力リンクのデータ・タイプが、照会によって返されるデータ・タイプと一致するようにしてください。

IIS-CONN-NZ-01025E タイム・スタンプに時刻部分が欠落しています。

説明: コネクタは、タイム・スタンプ・フィールドの時刻部分を検出しませんでした。

ユーザーの処置: 入力リンクのデータ・タイプが、照会によって返されるデータ・タイプと一致するようにしてください。

IIS-CONN-NZ-01026E スレッドで不明なエラーが発生しました。

説明: 予期しない内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01028I ODBC 関数 *function_name* が *diagnostic_info* を報告しました

説明: 示された ODBC 関数が、診断メッセージ *diagnostic_info* を報告しました。

ユーザーの処置: メッセージを確認して、アクションが必要かどうかを判別してください。

IIS-CONN-NZ-01029E コネクタは、指定されたファイル *file_name* を見つけることができませんでした。あるいは、現行ユーザーにそのファイルの読み取り許可がありません。または、ファイルが空です。

説明: コネクタが、ファイル *file_name* から SQL ス

ステートメントを読み取ろうとしたときに問題を検出しました。コネクタがファイルを見つけられない場合、ファイルが存在しないことを意味します。名前およびパスが正しいことを確認してください。

ユーザーの処置: ファイルに対して正しい許可が設定されていること、およびファイルが空ではないことを確認してください。

IIS-CONN-NZ-01030E システム呼び出し

system_call_name が OS エラー *error_code* (*error_message*) で失敗しました。

説明: コネクタが、ファイル *system_call_name* から SQL ステートメントを読み取ろうとしたときに問題を検出しました。

ユーザーの処置: ファイルに対して正しい許可が設定されていること、およびファイルが空ではないことを確認してください。

IIS-CONN-NZ-01031E *number_of_bytes* バイトのメモリの割り振りに失敗しました。

説明: オペレーティング・システムが、Netezza Connector によって要求されたメモリの割り振りに失敗しました。

ユーザーの処置: 一部のシステム・リソースを解放するか、使用可能なメモリーを増やしてから、ジョブを再実行してください。

IIS-CONN-NZ-01033W 表 *table_name* からの分散キーの列 *column_name* が入力リンク・スキーマで見つかりませんでした。一時作業表はランダムな分散を使用します

説明: コネクタは、一時作業表 (TWT) の作成時に、ターゲット表の分散メカニズムを複製しようとします。このメッセージは、ターゲット表がハッシュ分散を使用してデータベース表を編成する場合、および 1 つ以上の分散キーの列がリンクにない場合にログに記録されます。コネクタはハッシュ分散を使用できないため、作成する TWT にはランダムな分散を使用します。

ユーザーの処置: (オプション) TWT でターゲット表の分散と一致させるには、すべての分散キーの列がリンクに存在すること、およびそのデータ・タイプがターゲット表内の列のデータ・タイプと一致することを確認してください。

IIS-CONN-NZ-01034E 表 *table_name* が見つかりませんでした。

説明: 表 *table_name* がデータベースに存在しません。

ユーザーの処置: コネクタで「表名」プロパティに正しい表名を入力したことを確認してください。

IIS-CONN-NZ-01035E 入力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりませんでした

説明: 入力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 報告された列を入力リンクから削除するか、コネクタ・プロパティ「アンマッチのリンク列アクション」を「ドロップ」に設定してください。

IIS-CONN-NZ-01036W 入力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりませんでした。これらの列は入力リンク・スキーマからドロップされます

説明: 入力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりませんでした。これらの列は入力リンク・スキーマからドロップされます。

ユーザーの処置: (オプション) 入力リンクから列を削除するか、コネクタ・プロパティ「ミスマッチのレポート作成アクション」を「情報」または「なし」に設定して警告を抑制してください。

IIS-CONN-NZ-01037E 入力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりましたが、互換性のあるデータ・タイプがありません

説明: 入力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりましたが、互換性のあるデータ・タイプがありませんでした。

ユーザーの処置: 示された列のデータ・タイプを変更するか、コネクタ・プロパティ「タイプ・ミスマッチ・アクション」を「ドロップ」または「保持」に設定してください。

IIS-CONN-NZ-01038W 入力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりましたが、互換性のあるデータ・タイプがありません。これらの列は入力リンク・スキーマからドロップされます

説明: 入力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりましたが、互換性のあるデータ・タイプがありませんでした。これらの列は入力リンク・スキーマからドロップされます。

ユーザーの処置: (オプション) 示された列のデータ・タイプを変更するか、コネクタ・プロパティ「ミスマッチのレポート作成アクション」を「情報」または「なし」に設定して警告を抑制してください。

IIS-CONN-NZ-01039E 表 *table_name* からの NULL 可能列 *column_names* が入力リンク・スキーマで見つかりませんでした

説明: 表 *table_name* からの NULL 可能列 *column_names* が入力リンク・スキーマで見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 欠落している列をリンクに追加するか、コネクタ・プロパティ「アンマッチ表の列アクション」を「NULL 可能性を無視」または「すべて無視」に設定してください。

IIS-CONN-NZ-01040E 表 *table_name* からの列 *column_names* が入力リンク・スキーマで見つかりませんでした

説明: 表 *table_name* からの列 *column_names* が入力リンク・スキーマで見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 欠落している列をリンクに追加するか、コネクタ・プロパティ「アンマッチ表の列アクション」を「すべて無視」に設定してください。

IIS-CONN-NZ-01041W 表 *table_name* からの NULL 可能列 *column_names* が入力リンク・スキーマで見つかりませんでした。これらの列は無視されます

説明: 表 *table_name* からの NULL 可能列 *column_names* が入力リンク・スキーマで見つかりませんでした。これらの列は無視されます。

ユーザーの処置: (オプション) 欠落している列をリンクに追加するか、コネクタ・プロパティ「ミスマッチのレポート作成アクション」を「情報」または「なし」に設定して警告を抑制してください。

IIS-CONN-NZ-01042W 表 *table_name* からの列 *column_names* が入力リンク・スキーマで見つかりませんでした。これらの列は無視されます

説明: 表 *table_name* からの列 *column_names* が入力リンク・スキーマで見つかりませんでした。これらの列は無視されます。

ユーザーの処置: 欠落している列をリンクに追加するか、コネクタ・プロパティ「ミスマッチのレポート

作成アクション」を「情報」または「なし」に設定して警告を抑制してください。

IIS-CONN-NZ-01043E 表 *Table name* の列に一致する入力リンク・スキーマの列がありませんでした

説明: 表 *Table name* の列に一致する入力リンク・スキーマの列がありませんでした。

ユーザーの処置: 表 *Table name* の列に一致する入力リンク・スキーマの列がありませんでした。以下の 1 つ以上のステップを実行します。

- 正しい表を指定したことを確認します。
- 入力リンク・スキーマの列を変更します。

IIS-CONN-NZ-01044I 大/小文字の区別がある識別子を使用しています

説明: コネクタは、大/小文字を区別した識別子を使用しています。

ユーザーの処置: (オプション) コネクタ・プロパティ「識別子の大小文字を区別する」を正しく設定してください。

IIS-CONN-NZ-01045I 大/小文字を区別しない識別子を使用しています

説明: コネクタは、大/小文字を区別しない識別子を使用しています。

ユーザーの処置: (オプション) コネクタ・プロパティ「識別子の大小文字を区別する」を正しく設定してください。

IIS-CONN-NZ-01047E 無効な表名が指定されています: *table_name*。Netezza の表 ID は、`database.schema.table-name` のように最大 3 個の部分しか持つことができません

説明: 表名 *table_name* は無効です。Netezza の表 ID は、`database.schema.table_name` 形式で最大 3 個の部分しか持つことができません。

ユーザーの処置: 表に有効な名前を指定してください。

IIS-CONN-NZ-01049E イベントの待機中に名前付きパイプ *Pipe name* でエラーが発生しました。エラー・コード: *Error code*

説明: コネクタがパイプで作業している間にエラーが発生しました。このエラーは、Windows システムでのみ発生します。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを取

集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01050I 表のアクション DROP が正常に完了しました。

説明: 表の DROP アクションが正常に完了しました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-NZ-01051I 表のアクション CREATE が正常に完了しました。

説明: 表の CREATE アクションが正常に完了しました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-NZ-01052I 表のアクション TRUNCATE が正常に完了しました。

説明: 表の TRUNCATE アクションが正常に完了しました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-NZ-01053I BEFORE SQL コマンドが正常に実行されました。

説明: BEFORE SQL コマンドが正常に完了しました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-NZ-01054I AFTER SQL コマンドが正常に実行されました。

説明: AFTER SQL コマンドが正常に完了しました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-NZ-01055I BEFORE SQL ノード・コマンドが正常に実行されました。

説明: 「Before SQL (ノード)」プロパティに入力された SQL ステートメントが正常に実行されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-NZ-01056I AFTER SQL ノード・コマンドが正常に実行されました。

説明: AFTER SQL ノード・コマンドが正常に完了しました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-NZ-01057E SQL ステートメント *SQL_statement* から列リストを取得できません

説明: コネクターがユーザー提供の SELECT ステートメントから列リストを取得しようとしたときに、エラーが発生しました。

ユーザーの処置: 示された SQL ステートメントは列を返しません。有効な SELECT ステートメントを入力したことを確認してください。

IIS-CONN-NZ-01058E 列 *column_name* のデータ・タイプ *data_type* はサポートされていません。

説明: 列 *column_name* の *data_type* データ・タイプは Netezza でサポートされていません。

ユーザーの処置: 列のデータ・タイプをサポートされるタイプに変更するか、その列をリンクから削除してください。サポートされるデータ・タイプの詳細については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」を参照してください。

IIS-CONN-NZ-01059I コネクターは、順次モードで実行します。

説明: コネクターは、順次モードで実行するよう構成されています。

ユーザーの処置: (オプション) コネクターをパラレル・ステージで実行する場合、ステージ構成を確認して、ステージをパラレル実行用に構成してください。さらに、コネクターが Netezza からデータを読み取っている場合、コネクターがパラレルで実行されるように、「パーティション読み取りを有効にする」プロパティを「はい」に設定してください。

IIS-CONN-NZ-01060I 生成された表のアクションのSQL: *SQL_statement*

説明: コネクターが、ステージで指定された表のアクション用にこの SQL ステートメントを生成しました。

ユーザーの処置: (オプション) ステージで、リンクにある表名プロパティおよび列定義を確認してください。または、カスタム SQL ステートメントを入力することができます。

IIS-CONN-NZ-01061I 更新された行数: *Count*

説明: *Count* 個の行が更新されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-NZ-01062I 削除された行数: *Count*

説明: *Count* 個の行が削除されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-NZ-01063I 挿入された行数: *Count*

説明: *Count* 個の行が挿入されました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-NZ-01068E キー列 *key_column(s)* がリンク・スキーマで見つかりませんでした

説明: プロパティ「キー列」で指定された 1 つ以上のキー列が入力リンクで見つかりませんでした。

ユーザーの処置: このエラーは、「キー列」プロパティで以前に選択したキー列を 1 つ以上削除することでリンク・スキーマを変更した場合に発生します。正しいキー列を「キー列」プロパティで選択してください。

IIS-CONN-NZ-01069E 更新列 *column(s)* がリンク・スキーマで見つかりませんでした

説明: プロパティ「更新列」で指定された 1 つ以上の更新列が入力リンクで見つかりませんでした。

ユーザーの処置: このエラーは、「更新列」プロパティで以前に選択した更新列を 1 つ以上削除することでリンク・スキーマを変更した場合に発生します。正しいキー列を「更新列」プロパティで選択してください。

IIS-CONN-NZ-01070E ユニーク・キー列 *column(s)* がリンク・スキーマで見つかりませんでした

説明: プロパティ「ユニーク・キー列」で指定されたユニーク・キー列が入力リンクで見つかりませんでした。

ユーザーの処置: このエラーは、「ユニーク・キー列」プロパティで以前に選択したユニーク・キー列を削除することでリンク・スキーマを変更した場合に発生します。正しいキー列を「ユニーク・キー列」プロパティで選択してください。

IIS-CONN-NZ-01071E ユニーク・キー列 *column* が一時作業表 *table* で見つかりませんでした。この列をドロップすることはできません

説明: 指定されたユニーク・キー列が一時作業表で見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 別のユニーク・キー列を選択するか、ユニーク・キー列を一時作業表に追加してください。

IIS-CONN-NZ-01072E アクション列 *column* がリンク・スキーマで見つかりませんでした

説明: プロパティ「アクション列」で指定されたアクション列が入力リンクで見つかりませんでした。

ユーザーの処置: このエラーは、「アクション列」プロパティで以前に選択したアクション列を削除することでリンク・スキーマを変更した場合に発生します。正しいキー列を「アクション列」プロパティで選択してください。

IIS-CONN-NZ-01073E アクション列 *column* が一時作業表 *table* で見つかりませんでした。この列をドロップすることはできません

説明: 指定されたアクション・キー列が一時作業表で見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 別のアクション列を選択するか、アクション列を一時作業表に追加してください。

IIS-CONN-NZ-01074E アクション列 *Column* がリンク・スキーマで見つかりましたが、データ・タイプが間違っています

説明: 指定されたアクション列のデータ・タイプが正しくありません。アクション列は Char(1) データ・タイプでなければなりません。

ユーザーの処置: 別のアクション列を選択するか、列のデータ・タイプを修正してください。

IIS-CONN-NZ-01075E アクション列 *column* が一時作業表 *table* で見つかりましたが、データ・タイプが間違っています。この列をドロップすることはできません

説明: 指定されたアクション列が一時作業表で見つかりましたが、アクション列のデータ・タイプが正しくあり

ません。アクション列は Char(1) データ・タイプでなければなりません。

ユーザーの処置: 別のアクション列を選択するか、列のデータ・タイプを修正してください。

IIS-CONN-NZ-01076E アクション列 *column* がターゲット表 *table* で見つかりました。アクション列をターゲット表の列の 1 つにすることはできません

説明: ターゲット表の列をアクション列として使用することはできません。

ユーザーの処置: 別のアクション列を選択するか、ターゲット表からアクション列を削除してください。

IIS-CONN-NZ-01077E 更新列 *column(s)* は、キー列、ユニーク・キー列、またはアクション列として既に使用されています

説明: 指定された列は既にキー列、ユニーク・キー列、またはアクション列として使用されているため、更新列として使用することはできません。

ユーザーの処置: 「更新列」プロパティに指定した列を更新列のリストから削除してください。

IIS-CONN-NZ-01078E キー列 *column(s)* は、ユニーク・キー列、またはアクション列として既に使用されています

説明: 指定された列は既に更新列、ユニーク・キー列、またはアクション列として使用されているため、キー列として使用することはできません。

ユーザーの処置: 「キー列」プロパティに指定した列をキー列のリストから削除してください。

IIS-CONN-NZ-01079E ユニーク・キー列 *Column* は、アクション列として既に使用されています

説明: 指定された列は既にキー列、更新列、またはアクション列として使用されているため、この列をユニーク・キー列として使用することはできません。

ユーザーの処置: 別のユニーク・キー列を選択してください。

IIS-CONN-NZ-01080E ユニーク・キー列が複数指定されています。許可されるユニーク・キー列は 1 つのみです

説明: 内部エラーが発生しました。ユニーク・キー列が複数指定されています。許可されるユニーク・キー列は 1 つのみです。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01081E アクション列が複数指定されています。許可されるアクション列は 1 つのみです

説明: 内部エラーが発生しました。アクション列が複数指定されています。許可されるアクション列は 1 つのみです。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01082W 入力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりませんでした。これらの列は生成されるステートメントからドロップされます

説明: 入力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりませんでした。これらの列は生成されるステートメントからドロップされます。

ユーザーの処置: (オプション) 欠落している列をターゲット表に追加するか、リンクから削除してください。

IIS-CONN-NZ-01083W 入力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりましたが、互換性のあるデータ・タイプがありません。これらの列は生成されるステートメントからドロップされます

説明: 入力リンク列が表 *table_name* で見つかりましたが、そのデータ・タイプに互換性がありませんでした。これらの列は、生成されるステートメントからドロップされます。

ユーザーの処置: (オプション) 列のデータ・タイプを修正してください。

IIS-CONN-NZ-01084E SQL ステートメントを生成するには、1 つ以上のキー列を指定する必要があります。

説明: コネクターが SQL ステートメントを生成するために使用できるキー列がありません。キー列は、リンクからドロップされたために使用できない可能性があります。ターゲット表または一時作業表に列の一致が存在しない場合、または列のデータ・タイプが一致しなかった場合は、キー列がリンクからドロップされることがあります。

ユーザーの処置: 列がターゲット表または一時作業表内にあること、および列のデータ・タイプが一致することを確認してください。または、別のキー列を選択してください。

IIS-CONN-NZ-01085E UPDATE ステートメントを生成するには、1 つ以上の非キー列を指定する必要があります。

説明: コネクターが SQL ステートメントを生成するために使用できる更新列がありません。更新列は、リンクからドロップされたために使用できない可能性があります。ターゲット表または一時作業表に列の一致が存在しない場合、または列のデータ・タイプが一致しなかった場合は、更新列がリンクからドロップされることがあります。このエラー・メッセージは、使用可能なすべての列をキーとして選択した場合は発生しません。

ユーザーの処置: 列がターゲット表または一時作業表内にあること、および列のデータ・タイプが一致することを確認してください。または、別の更新列を選択してください。

IIS-CONN-NZ-01086E サポートされないメタデータ・クラスが指定されました: *class*

説明: 予期しない内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01087E 表: *table* の情報を取得できません

説明: 予期しない内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01089E 入力リンク列 *column_names* がステートメント・パラメーターで見つかりませんでした

説明: このメッセージはスパーズ・ルックアップに固有です。指定された入力リンク列には一致するステートメント (ORCHESTRATE) パラメーターがありません。ORCHESTRATE パラメーターの名前は、リンク上の列名と一致する必要があります。

ユーザーの処置: リンク列の名前と SQL ステートメントの名前を一致させてください。

IIS-CONN-NZ-01090W 入力リンク列 *column_names* がステートメント・パラメーターで見つかりませんでした。これらの列はドロップされます。

説明: このメッセージはスパーズ・ルックアップに固有です。指定された入力リンク列には一致するステートメント (ORCHESTRATE) パラメーターがありません。ORCHESTRATE パラメーターの名前は、リンク上の列名と一致する必要があります。コネクタは、リンクからこれらの列をドロップします。

ユーザーの処置: リンク列の名前と SQL ステートメントの名前を一致させてください。

IIS-CONN-NZ-01091E 入力リンク・スキーマからの列 *Column names* が表で見つかりませんでした。

説明: このメッセージはスパーズ・ルックアップに固有です。示された入力リンク列が表で見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 列を削除するか、コネクタ・プロパティ「アンマッチのリンク列アクション」を「ドロップ」に設定してください。

IIS-CONN-NZ-01092W 入力リンク・スキーマからの列 *column_names* が表で見つかりませんでした。これらの列はドロップされます。

説明: このメッセージはスパーズ・ルックアップに固有です。示された入力リンク列が表で見つかりませんでした。これらの列はリンクからドロップされます。

ユーザーの処置: (オプション) 列を削除するか、「ミスマッチのレポート作成アクション」コネクタ・プロパティを「情報」または「なし」に設定して警告を抑制してください。

IIS-CONN-NZ-01093E 出力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりませんでした

説明: 示された出力リンク列がソース表で見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 列を削除するか、「アンマッチのリンク列アクション」コネクタ・プロパティを「ドロップ」に設定してください。

IIS-CONN-NZ-01094W 出力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりませんでした。これらの列は出力リンク・スキーマからドロップされます

説明: 示された出力リンク列がソース表で見つかりませんでした。これらの列は出力リンク・スキーマからドロップされます。

ユーザーの処置: (オプション) 列を削除するか、「ミスマッチのレポート作成アクション」コネクタ・プロパティを「情報」または「なし」に設定して警告を抑制してください。

IIS-CONN-NZ-01095E 出力リンク列 *column_names* が照会 *query* の結果セットで見つかりましたが、互換性のあるデータ・タイプがありません

説明: 示された出力リンク列が照会の結果セットで見つかりましたが、出力リンク列のデータ・タイプに、対応する結果セット列のデータ・タイプとの互換性がありません。

ユーザーの処置: 出力リンク列のデータ・タイプを変更するか、「タイプ・ミスマッチ・アクション」コネクタ・プロパティを「ドロップ」または「保持」に設定してください。

IIS-CONN-NZ-01096W 出力リンク列 *column_names* が照会 *query* の結果セットで見つかりましたが、互換性のあるデータ・タイプがありません。これらの列は出力リンク・スキーマからドロップされます

説明: 示された出力リンク列が照会の結果セットで見つかりましたが、出力リンク列のデータ・タイプに、対応する結果セット列のデータ・タイプとの互換性がありません。これらの列は出力リンク・スキーマからドロップされます。

ユーザーの処置: (オプション) 出力リンク列のデータ・タイプを変更するか、「ミスマッチのレポート作成アクション」コネクタ・プロパティを「情報」または「なし」に設定して警告を抑制してください。

IIS-CONN-NZ-01097E 出力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりましたが、互換性のあるデータ・タイプがありません

説明: 示された出力リンク列がソース表 *table_name* で見つかりましたが、そのタイプに、対応する結果セット列のタイプとの互換性がありません。

ユーザーの処置: 出力リンク列のデータ・タイプを変更するか、「タイプ・ミスマッチ・アクション」コネクタ・プロパティを「ドロップ」または「保持」に設定してください。

IIS-CONN-NZ-01098W 出力リンク列 *column_names* が表 *table_name* で見つかりましたが、互換性のあるデータ・タイプがありません。これらの列は出力リンク・スキーマからドロップされます

説明: 特定の出力リンク列が表 *table_name* で見つかりましたが、そのタイプは、対応する結果セット列のタイプとの互換性がありません。これらの列は出力リンク・スキーマからドロップされます。

ユーザーの処置: (オプション) 出力リンク列のデータ・タイプを変更するか、「ミスマッチのレポート作成アクション」コネクタ・プロパティを「情報」または「なし」に設定して警告を抑制してください。

IIS-CONN-NZ-01099E 照会 *query* の結果セットからの列 *column_names* が出力リンク・スキーマで見つかりませんでした

説明: 指定された結果セット列がリンクで見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 欠落している列をリンクに追加するか、照会を変更してください。または、「アンマッチ表または照会列のアクション」コネクタ・プロパティを「無視」に設定してください。

IIS-CONN-NZ-01100W 照会 *query* の結果セットからの列 *column_names* が出力リンク・スキーマで見つかりませんでした。これらの列は無視されます。

説明: 示された結果セット列がリンクで見つかりませんでした。無視されます。

ユーザーの処置: 欠落している列をリンクに追加するか、照会を変更してください。または、「ミスマッチのレポート作成アクション」コネクタ・プロパティを「情報」または「なし」に設定して警告を抑制してください。

IIS-CONN-NZ-01101E 表 *table_name* からの列 *column_names* が出力リンク・スキーマで見つかりませんでした

説明: 示されたソース表列がリンクで見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 欠落している列をリンクに追加するか、コネクタ・プロパティ「アンマッチ表または照会列のアクション」を「無視」に設定してください。

IIS-CONN-NZ-01102W 表 *table_name* からの列 *column_names* が出力リンク・スキーマで見つかりませんでした。これらの列は無視されます。

説明: 示されたソース表列がリンクで見つかりませんでした。無視されます。

ユーザーの処置: 欠落している列をリンクに追加してください。または、コネクタ・プロパティ「ミスマッチのレポート作成アクション」を「情報」または「なし」に設定して警告を抑制してください。

IIS-CONN-NZ-01103E 照会 *query* の結果セットの列に一致する出力リンク・スキーマの列がありませんでした

説明: 照会 *query* の結果セットの列に一致する出力リンク・スキーマの列がありませんでした。

ユーザーの処置: リンクで列の照会を確認するか、リンクで列を変更するか、両方の作業を行ってください。

IIS-CONN-NZ-01104I SQL ステートメント *SQL_statements* を使用して統計を生成しています

説明: コネクタは、示された SQL ステートメントを実行して、ターゲット表で統計を生成します。

ユーザーの処置: ターゲット表で統計を生成しない場合、「統計の生成」コネクタ・プロパティを「いいえ」に設定してください。

IIS-CONN-NZ-01105I 読み取った行数: *count*

説明: *count* 個の行が読み取られました。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-NZ-01106E 表 *table_name* の列に一致する出力リンク・スキーマの列がありませんでした

説明: ソース表 *table_name* の列に一致する出力リン

ク・スキーマの列がありませんでした。

ユーザーの処置: 正しい表を使用していることを確認するか、リンクで列を変更してください。

IIS-CONN-NZ-01107E エラーの詳細の取得に失敗しました。

説明: 予期しない内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01108I 重複行の数: Count

説明: 重複行の数を表示します。次の 2 つのタイプの重複行があります。

1. (入力リンクの) 入力データ・セットの複数の行に同じキーの組み合わせがある。
2. 入力データ・セットの 1 つ以上の行が、表に既に存在する行と一致する。

ユーザーの処置: アクションは不要です。

IIS-CONN-NZ-01109E 重複行が見つかりました

説明: 入力データ内の複数の行に同じキーの組み合わせがあるか、入力行がターゲット表内の 1 つ以上の既存の行と一致するか、その両方が発生しています。

ユーザーの処置: 重複行のフィルタリングを有効にするには、「重複行アクション」コネクタ・プロパティを「フィルター」に設定します。または、重複データを手動で削除してください。

IIS-CONN-NZ-01110E アクション列を指定してください

説明: アクション列として指定されたリンク列がありませんでした。

ユーザーの処置: アクション列「使用」->「SQL」->「アクション列」を選択してください。

IIS-CONN-NZ-01111E 列が指定されていません

説明: リンク上に列がありません。

ユーザーの処置: 1 つ以上の列を追加してください。

IIS-CONN-NZ-01112E アクション列以外の列が指定されていません

説明: リンク上にアクション列以外の列がありません。

ユーザーの処置: 1 つ以上の列を追加してください。

IIS-CONN-NZ-01113E この機能はサポートされていません

説明: 予期しない内部エラーが発生しました。

ユーザーの処置: ジョブ・ログとジョブ・デザインを収集して、IBM ソフトウェア・サポートに連絡してください。ジョブ・デザインは、.dsx ファイルおよび .isx ファイルとしてエクスポートできます。

IBM ソフトウェア・サポートへの連絡の前に収集する必要のある特定のログと情報については、「接続ガイド: Netezza Performance Server 編」の『トラブルシューティング』セクションを参照してください。

他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .dsx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターの InfoSphere DataStage and QualityStage ジョブのデザインに関するトピックを参照してください。他のユーザーと共有できるようにジョブ・デザインを .isx ファイルとしてエクスポートする方法については、InfoSphere Information Server インフォメーション・センターのジョブのデプロイおよびバージョン管理のアクセスに関するトピックを参照してください。

IIS-CONN-NZ-01114E ステートメント・パラメーター *parameter_name* が入力リンク・スキーマで見つかりませんでした。

説明: このメッセージはスペース・ルックアップに固有です。ORCHESTRATE.*parameter_name* として指定されたステートメント・パラメーターには、リンク上の一致する列がありません。ORCHESTRATE パラメーターの名前は、リンク上の列名と一致する必要があります。

ユーザーの処置: リンク列の名前と SQL ステートメントの名前を一致させてください。

IIS-CONN-NZ-01115E キー列が見つかりません。

説明: このメッセージはスパス・ルックアップに固有です。コネクタが、SQL ステートメントを生成するために必要なキー列を見つけることができませんでした。キー列をリンク上でマークする必要があります。

ユーザーの処置: 1 つ以上のリンク列をキー列としてマークしてください。

IIS-CONN-NZ-01116E 出力リンク列 *column_names* が照会 *query* の結果セットで見つかりませんでした

説明: 示された出力リンク列が照会の結果セットで見つかりませんでした。

ユーザーの処置: 列を削除するか、「アンマッチのリンク列アクション」コネクタ・プロパティを「ドロップ」に設定してください。

IIS-CONN-NZ-01117W 出力リンク列 *column_names* が照会 *query* の結果セットで見つかりませんでした。これらの列は出力リンク・スキーマからドロップされます

説明: 示された入力リンク列が照会の結果セットで見つかりませんでした。これらの列は出力リンク・スキーマからドロップされます。

ユーザーの処置: (オプション) 列を削除するか、「ミスマッチのレポート作成アクション」コネクタ・プロパティを「情報」または「なし」に設定して警告を抑制してください。

付録 A. 製品のアクセシビリティ

IBM® 製品のアクセシビリティ対応状況についての情報を入手できます。

IBM InfoSphere® Information Server 製品のモジュールおよびユーザー・インターフェースは完全にはアクセシビリティ対応がなされていません。

IBM 製品のアクセシビリティ対応状況の詳細は、http://www.ibm.com/able/product_accessibility/index.html の IBM 製品のアクセシビリティ情報をご覧ください。

アクセシビリティ対応資料

IBM Knowledge Center には、製品のアクセシビリティ対応資料が用意されています。IBM Knowledge Center では、ほとんどの Web ブラウザーで表示可能な XHTML 1.0 形式で資料を提供しています。IBM Knowledge Center では XHTML を使用しているため、使用しているブラウザーに設定されている表示形式で資料を表示できます。さらに、スクリーン・リーダーやその他の支援技術を使用して、資料にアクセスすることもできます。

IBM Knowledge Center にある資料は、PDF ファイルでも提供されますが、こちらは完全にはアクセシビリティ対応がなされていません。

IBM のアクセシビリティに対する取り組み

アクセシビリティに関する IBM のコミットメントの詳細については、IBM Human Ability and Accessibility Center を参照してください。

付録 B. コマンド・ライン構文の読み方

この資料では、特殊文字を使用してコマンド・ライン構文を定義しています。

次の特殊文字によってコマンド・ライン構文が定義されます。

- [] オプションの引数を識別します。大括弧で囲まれていない引数は必須です。
- ... 前の引数に複数の値を指定できることを示します。
- | 同時には使用できない情報であることを示します。区切り文字の左側の引数か、右側の引数のどちらか一方を使用できます。単一のコマンド使用で、両方の引数を使用することはできません。
- { } 同時には使用できない一連の引数を囲みます。この内の 1 つは必須です。引数がオプションの場合、引数は大括弧 ([]) で囲まれます。

注:

- 引数の最大文字数は 256 です。
- 埋め込みのスペースがある引数値は、単一引用符または二重引用符で囲みます。

例:

```
wsetsrc[-S server] [-l label] [-n name] source
```

source 引数は、**wsetsrc** コマンドで唯一必須の引数です。他の引数は大括弧で囲まれています。これは、これらの引数がオプションであることを示します。

```
wlsac [-l | -f format] [key... ] profile
```

この例で、**-l** および **-f format** 引数は、同時には使用できないもので、オプションでもあります。*profile* 引数は必須です。*key* 引数はオプションです。*key* 引数のあとの省略符号 (...) は、複数の *key* 名を指定できることを示します。

```
wrb -import {rule_pack | rule_set}...
```

この例で、*rule_pack* および *rule_set* 引数は同時には使用できませんが、どちらか 1 つの引数は指定する必要があります。また、省略符号 (...) は、複数の *rule_pack* または *rule_set* を指定できることを示します。

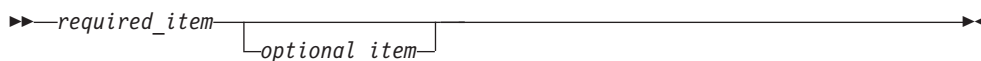
付録 C. 構文図の見方

本書で使用される構文図には、以下の規則が適用されます。

- 構文図は、左から右、上から下に、線に沿って読みます。以下の規則が使用されます。
 - >>--- 記号は、構文図の始まりを示します。
 - ---> 記号は、構文図が次の行に続くことを示します。
 - >--- 記号は、構文図が前の行から続いていることを示します。
 - --->< 記号は、構文図の終わりを示します。
- 必須項目は、水平線 (メインパス) 上にあります。



- オプション項目はメインパスの下に表示されます。

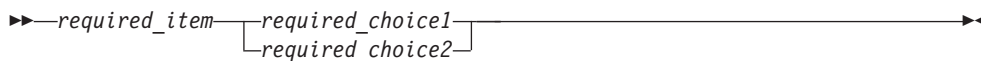


オプション項目がメインパスの上に表示される場合、その項目は構文要素の実行に影響せず、単に読みやすくするために使用されます。

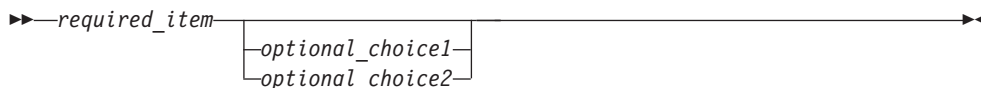


- 複数の項目から選択できる場合は、それらの項目を縦に並べて (スタック) 示しています。

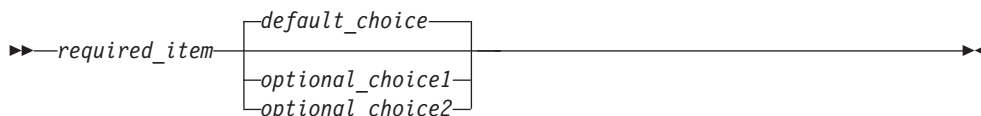
項目の 1 つを選択する必要がある場合は、スタックの 1 つの項目がメインパス上に示されています。



項目から 1 つをオプションで選択できる場合、スタック全体がメインパスよりも下に示されます。



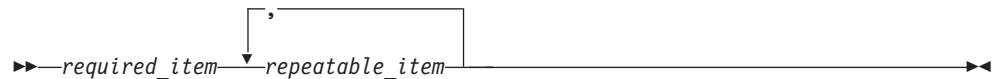
項目の 1 つがデフォルトである場合は、その項目はメインパスの上に表示され、残りの選択項目は下に示されます。



- メインラインの上に、左へ戻る矢印がある場合には、項目を繰り返して指定できることを示しています。



繰り返しの矢印にコンマが含まれている場合は、繰り返し項目をコンマで区切らなければなりません。



スタックの上の反復矢印は、スタック内の項目を反復できることを示します。

- 構文図が、複数のフラグメントに分かれている場合があります。構文フラグメントはメインの構文図とは別に示されますが、フラグメントの内容は、図のメインパス上にあるものとして読む必要があります。



fragment-name:



- キーワードは大文字で表示され、最小の省略形が存在する場合にはそれも大文字で表示されます。示されているとおりに入力する必要があります。
- 変数は、すべて小文字のイタリック体 (例えば、*column-name*) で表示されます。これらは、ユーザーが指定する名前または値を表します。
- 図の中に句読点がない場合は、キーワードおよびパラメーターを 1 つ以上のスペースで区切ります。
- 句読記号、括弧、算術演算子、およびその他の記号は、図に示されているとおりに入力してください。
- 脚注は、(1) のように、括弧の中に数字を入れた形で示されます。

付録 D. IBM の窓口

お客様サポート、ソフトウェア・サービス、製品情報、および全般情報について、IBM と連絡を取ることができます。また、製品についてのフィードバックを行うことができます。

次の表に、お客様サポート、ソフトウェア・サービス、研修、製品およびソリューション情報に関するリソースをリストしています。

表1. IBM リソース

リソース	説明と場所
IBM サポート・ポータル	サポート情報は、 www.ibm.com/support/entry/portal/Software/Information_Management/InfoSphere_Information_Server で、製品と関心のあるトピックを選択してカスタマイズできます。
ソフトウェア・サービス	ソフトウェア、IT、およびビジネス・コンサルティング・サービスについての情報は、「ソリューション」サイト www.ibm.com/businesssolutions/jp/ja にアクセスしてください。
My IBM	www.ibm.com/account/jp/ja/ の「My IBM」サイトでアカウントを作成し、特定のテクニカル・サポートのニーズに合うように、IBM Web サイトおよび情報へのリンクを管理できます。
研修と認定	個人、法人、および公共団体向けに、IT 技術の習得、維持、最適化を目的としてデザインされた技術研修およびサービスについては、 http://www.ibm.com/training にアクセスしてください。
IBM 担当員	ソリューションについて IBM 担当員と連絡を取るには、 www.ibm.com/connect/ibm/us/en/ にアクセスしてください。

付録 E. 製品資料へのアクセス

資料は、オンラインの IBM Knowledge Center、オプションでローカルにインストールしたインフォメーション・センター、PDF のブックといったさまざまな形式で提供されます。製品クライアント・インターフェースから、オンラインまたはローカルにインストールしたヘルプに直接アクセスすることができます。

IBM Knowledge Center は、InfoSphere Information Server の最新情報を探すのに最適な場所です。IBM Knowledge Center には、スイートのすべての製品モジュールの全資料のほか、ほとんどの製品インターフェースのヘルプも含まれています。IBM Knowledge Center は、インストール済み製品から開くことも、Web ブラウザーから開くこともできます。

IBM Knowledge Center へのアクセス

オンライン資料にアクセスするには、さまざまな方法があります。

- クライアント・インターフェースで、画面右上の「ヘルプ」リンクをクリックします。
- F1 キーを押します。F1 キーを押すと、通常、クライアント・インターフェースの現行コンテキストを説明するトピックが開きます。

注: F1 キーは、Web クライアントでは機能しません。

- 製品にログインしていないときなどに、Web ブラウザーにアドレスを入力します。

すべてのバージョンの InfoSphere Information Server の資料にアクセスするには、以下のアドレスを入力します。

<http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ/>

特定のトピックにアクセスするには、製品 ID とバージョン番号、資料プラグイン名、および URL 内のトピック・パスを指定します。例えば、バージョン 11.3 用のこのトピックの URL は以下のとおりです。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

http://www.ibm.com/support/knowledgecenter/SSZJPZ_11.3.0/⇒com.ibm.swg.im.iis.common.doc/common/accessingiidoc.html

ヒント:

Knowledge Center には、以下の短縮 URL もあります。

<http://ibm.biz/knowctr>

特定の製品ページ、バージョン、またはトピックの短縮 URL を指定するには、短縮 URL と製品 ID の間にハッシュ文字 (#) を使用します。例えば、すべての InfoSphere Information Server 資料の短縮 URL は、以下のとおりです。

<http://ibm.biz/knowctr#SSZJPZ/>

また、前述のトピックの URL を少し短くした短縮 URL は、以下のとおりです。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

```
http://ibm.biz/knowctr#SSZJPZ_11.3.0/com.ibm.swg.im.iis.common.doc/⇒  
common/accessingiidoc.html
```

ローカルにインストールした資料を参照するヘルプ・リンクの変更

IBM Knowledge Center には、最新版の資料が含まれています。一方、インフォメーション・センターとしてローカル版の資料をインストールして、それを指すようにヘルプ・リンクを構成することも可能です。ローカルのインフォメーション・センターは、お客様の企業でインターネットへのアクセスが提供されていない場合に便利です。

インフォメーション・センターのインストール・パッケージに付属するインストール手順を使用して、任意のコンピューターにそれをインストールします。インフォメーション・センターをインストールして開始した後、サービス層のコンピューターで **iisAdmin** コマンドを使用して、製品の F1 とヘルプ・リンクで参照する資料の場所を変更できます。(記号「⇒」は、行の継続を表します)

Windows

```
IS_install_path¥ASBServer¥bin¥iisAdmin.bat -set -key ⇒  
com.ibm.iis.infocenter.url -value http://<host>:<port>/help/topic/
```

AIX® Linux

```
IS_install_path/ASBServer/bin/iisAdmin.sh -set -key ⇒  
com.ibm.iis.infocenter.url -value http://<host>:<port>/help/topic/
```

ここで、<host> はインフォメーション・センターがインストールされたコンピューターの名前、<port> はインフォメーション・センターのポート番号です。デフォルトのポート番号は 8888 です。例えば、デフォルト・ポートを使用するコンピューター server1.example.com 上の URL 値は、`http://server1.example.com:8888/help/topic/` になります。

PDF およびハードコピー資料の入手

- PDF ファイルのブックはオンラインで利用可能で、サポートの文書 <https://www.ibm.com/support/docview.wss?uid=swg27008803&wv=1> からアクセスできます。
- IBM 資料は、オンラインでダウンロード、または IBM 担当員を通じてご注文いただけます。資料をオンラインでダウンロードするには <http://www.ibm.com/e-business/linkweb/publications/servlet/pbi.wss> の IBM Publications Center にアクセスしてください。

付録 F. 製品資料に関するフィードバックの提供

IBM の資料に関する貴重なフィードバックをご提供ください。

お客様からのご意見やご感想は、IBM が質の高い情報を提供するための参考にさせていただきます。ご意見をお寄せいただく場合は、次のいずれかの方法を使用することができます。

- IBM の Web サイトでホストしている IBM Knowledge Center 内のトピックについてコメントをお寄せいただくには、サインインし、トピックの下の「**コメントの追加**」ボタンをクリックしてコメントを追加してください。このようにして送信されたコメントは、一般に公開されます。
- IBM Knowledge Center 内のトピックに関するコメントを IBM に送信し、他の人からは閲覧できないようにするには、サインインし、IBM Knowledge Center の下の「**フィードバック**」リンクをクリックしてください。
- オンライン・リーダー用のコメント・フォーム (www.ibm.com/software/awdtools/rcf/) を使用して、コメントを送信します。
- コメントを E メールで comments@us.ibm.com に送付します。お送りいただく情報には、製品の名前、製品のバージョン番号、資料の名前と部品番号 (該当する場合) を含めてください。特定のテキストについてご意見がある場合は、そのテキストの位置 (例えば、タイトル、表番号、ページ番号など) を記載してください。

特記事項および商標

本書は米国 IBM が提供する製品およびサービスについて作成したものです。この資料は、IBM から他の言語でも提供されている可能性があります。ただし、ご利用にはその言語版の製品もしくは製品のコピーを所有していることが必要な場合があります。

特記事項

本書に記載の製品、サービス、または機能が日本においては提供されていない場合があります。日本で利用可能な製品、サービス、および機能については、日本 IBM の営業担当員にお尋ねください。本書で IBM 製品、プログラム、またはサービスに言及していても、その IBM 製品、プログラム、またはサービスのみが使用可能であることを意味するものではありません。これらに代えて、IBM の知的所有権を侵害することのない、機能的に同等の製品、プログラム、またはサービスを使用することができます。ただし、IBM 以外の製品とプログラムの操作またはサービスの評価および検証は、お客様の責任で行っていただきます。

IBM は、本書に記載されている内容に関して特許権 (特許出願中のものを含む) を保有している場合があります。本書の提供は、お客様にこれらの特許権について実施権を許諾することを意味するものではありません。実施権についてのお問い合わせは、書面にて下記宛先にお送りください。

〒103-8510
東京都中央区日本橋箱崎町19番21号
日本アイ・ビー・エム株式会社
法務・知的財産
知的財産権ライセンス渉外

以下の保証は、国または地域の法律に沿わない場合は、適用されません。IBM およびその直接または間接の子会社は、本書を特定物として現存するままの状態を提供し、商品性の保証、特定目的適合性の保証および法律上の瑕疵担保責任を含むすべての明示もしくは黙示の保証責任を負わないものとします。国または地域によっては、法律の強行規定により、保証責任の制限が禁じられる場合、強行規定の制限を受けるものとします。

この情報には、技術的に不適切な記述や誤植を含む場合があります。本書は定期的に見直され、必要な変更は本書の次版に組み込まれます。IBM は予告なしに、随時、この文書に記載されている製品またはプログラムに対して、改良または変更を行うことがあります。

本書において IBM 以外の Web サイトに言及している場合がありますが、便宜のため記載しただけであり、決してそれらの Web サイトを推奨するものではありません。それらの Web サイトにある資料は、この IBM 製品の資料の一部ではありません。それらの Web サイトは、お客様の責任でご使用ください。

IBM は、お客様が提供するいかなる情報も、お客様に対してなんら義務も負うことのない、自ら適切と信ずる方法で、使用もしくは配布することができるものとします。

本プログラムのライセンス保持者で、(i) 独自に作成したプログラムとその他のプログラム (本プログラムを含む) との間での情報交換、および (ii) 交換された情報の相互利用を可能にすることを目的として、本プログラムに関する情報を必要とする方は、下記に連絡してください。

IBM Corporation
J46A/G4
555 Bailey Avenue
San Jose, CA 95141-1003 U.S.A.

本プログラムに関する上記の情報は、適切な使用条件の下で使用することができませんが、有償の場合もあります。

本書で説明されているライセンス・プログラムまたはその他のライセンス資料は、IBM 所定のプログラム契約の契約条項、IBM プログラムのご使用条件、またはそれと同等の条項に基づいて、IBM より提供されます。

この文書に含まれるいかなるパフォーマンス・データも、管理環境下で決定されたものです。そのため、他の操作環境で得られた結果は、異なる可能性があります。一部の測定が、開発レベルのシステムで行われた可能性があります。その測定値が、一般に利用可能なシステムのもと同じである保証はありません。さらに、一部の測定値が、推定値である可能性があります。実際の結果は、異なる可能性があります。お客様は、お客様の特定の環境に適したデータを確かめる必要があります。

IBM 以外の製品に関する情報は、その製品の供給者、出版物、もしくはその他の公に利用可能なソースから入手したものです。IBM は、それらの製品のテストは行っておりません。したがって、他社製品に関する実行性、互換性、またはその他の要求については確認できません。IBM 以外の製品の性能に関する質問は、それらの製品の供給者をお願いします。

IBM の将来の方向または意向に関する記述については、予告なしに変更または撤回される場合があります、単に目標を示しているものです。

本書はプランニング目的としてのみ記述されています。記述内容は製品が使用可能になる前に変更になる場合があります。

本書には、日常の業務処理で用いられるデータや報告書の例が含まれています。より具体性を与えるために、それらの例には、個人、企業、ブランド、あるいは製品などの名前が含まれている場合があります。これらの名称はすべて架空のものであり、名称や住所が類似する企業が実在しているとしても、それは偶然にすぎません。

著作権使用許諾:

本書には、さまざまなオペレーティング・プラットフォームでのプログラミング手法を例示するサンプル・アプリケーション・プログラムがソース言語で掲載されて

います。お客様は、サンプル・プログラムが書かれているオペレーティング・プラットフォームのアプリケーション・プログラミング・インターフェースに準拠したアプリケーション・プログラムの開発、使用、販売、配布を目的として、いかなる形式においても、IBM に対価を支払うことなくこれを複製し、改変し、配布することができます。このサンプル・プログラムは、あらゆる条件下における完全なテストを経ていません。従って IBM は、これらのサンプル・プログラムについて信頼性、利便性もしくは機能性があることをほのめかしたり、保証することはできません。これらのサンプル・プログラムは特定物として現存するままの状態を提供されるものであり、いかなる保証も提供されません。IBM は、お客様の当該サンプル・プログラムの使用から生ずるいかなる損害に対しても一切の責任を負いません。

それぞれの複製物、サンプル・プログラムのいかなる部分、またはすべての派生的創作物にも、次のように、著作権表示を入れていただく必要があります。

© (お客様の会社名) (西暦年). このコードの一部は、IBM Corp. のサンプル・プログラムから取られています。© Copyright IBM Corp. _年を入れる_. All rights reserved.

この情報をソフトコピーでご覧になっている場合は、写真やカラーの図表は表示されない場合があります。

プライバシー・ポリシーに関する考慮事項

サービス・ソリューションとしてのソフトウェアも含めた IBM ソフトウェア製品（「ソフトウェア・オファリング」）では、製品の使用に関する情報の収集、エンド・ユーザーの使用感の向上、エンド・ユーザーとの対話またはその他の目的のために、Cookie はじめさまざまなテクノロジーを使用することがあります。多くの場合、ソフトウェア・オファリングにより個人情報が収集されることはありません。IBM の「ソフトウェア・オファリング」の一部には、個人情報を収集できる機能を持つものがあります。ご使用の「ソフトウェア・オファリング」が、これらの Cookie およびそれに類するテクノロジーを通じてお客様による個人情報の収集を可能にする場合、以下の具体的事項を確認ください。

このソフトウェア・オファリングは、展開される構成に応じて、セッションごとの Cookie または永続的な Cookie を使用する場合があります。製品またはコンポーネントがリストされていない場合、その製品またはコンポーネントは Cookie を使用しません。

表 2. InfoSphere Information Server 製品およびコンポーネントによる Cookie の使用

製品モジュール	コンポーネントまたは機能	使用される Cookie の種類	収集するデータ	データの目的	Cookie の無効化
すべて (InfoSphere Information Server インストール済み環境の部分)	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない

表 2. InfoSphere Information Server 製品およびコンポーネントによる Cookie の使用 (続き)

製品モジュール	コンポーネントまたは機能	使用される Cookie の種類	収集するデータ	データの目的	Cookie の無効化
すべて (InfoSphere Information Server インストール済み環境の部分)	InfoSphere Metadata Asset Manager	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 拡張されたユーザーのユーザビリティ シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere DataStage®	Big Data File ステージ	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名 デジタル署名 セッション ID 	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere DataStage	XML ステージ	セッション	内部 ID	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere DataStage	IBM InfoSphere DataStage and QualityStage® Operations Console	セッション	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere Data Click	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere Data Quality Console		セッション	個人情報でない	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere QualityStage Standardization Rules Designer	InfoSphere Information Server Web コンソール	<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	ユーザー名	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 	無効にできない
InfoSphere Information Governance Catalog		<ul style="list-style-type: none"> セッション 永続 	<ul style="list-style-type: none"> ユーザー名 内部 ID ツリーの状態 	<ul style="list-style-type: none"> セッション管理 認証 シングル・サインオン構成 	無効にできない
InfoSphere Information Analyzer	InfoSphere DataStage and QualityStage Designer クライアントの中の Data Rules ステージ	セッション	セッション ID	セッション管理	無効にできない

この「ソフトウェア・オファリング」が Cookie およびさまざまなテクノロジーを使用してエンド・ユーザーから個人を特定できる情報を収集する機能を提供する場合、お客様は、このような情報を収集するにあたって適用される法律、ガイドライ

ン等を遵守する必要があります。これには、エンドユーザーへの通知や同意の要求も含まれますがそれらには限られません。

このような目的での Cookie を含むさまざまなテクノロジーの使用の詳細については、IBM の『IBM オンラインでのプライバシー・ステートメント』 (<http://www.ibm.com/privacy/details/jp/ja/>) の『クッキー、ウェブ・ビーコン、その他のテクノロジー』および『IBM Software Products and Software-as-a-Service Privacy Statement』 (<http://www.ibm.com/software/info/product-privacy>) を参照してください。

商標

IBM、IBM ロゴおよび [ibm.com](http://www.ibm.com)[®] は、世界の多くの国で登録された International Business Machines Corporation の商標です。他の製品名およびサービス名等は、それぞれ IBM または各社の商標である場合があります。現時点での IBM の商標リストについては、<http://www.ibm.com/legal/copytrade.shtml> をご覧ください。

以下は、それぞれ各社の商標または登録商標です。

Adobe は、Adobe Systems Incorporated の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

Intel、Itanium は、Intel Corporation または子会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

Linux は、Linus Torvalds の米国およびその他の国における登録商標です。

Microsoft、Windows および Windows NT は、Microsoft Corporation の米国およびその他の国における商標です。

UNIX は The Open Group の米国およびその他の国における登録商標です。

Java[™] およびすべての Java 関連の商標およびロゴは Oracle やその関連会社の米国およびその他の国における商標または登録商標です。

索引

日本語, 数字, 英字, 特殊文字の順に配列されています。なお, 濁音と半濁音は清音と同等に扱われています。

[ア行]

お客様サポート
連絡先 23

[カ行]

構文
 コマンド・ライン 19
コマンド
 構文 19
コマンド・ライン構文
 規則 19

[サ行]

サポート
 お客様 23
商標
 リスト 29
製品資料
 アクセス 25
製品のアクセシビリティ
 アクセシビリティ 17
ソフトウェア・サービス
 連絡先 23

[タ行]

特殊文字
 コマンド・ライン構文での 19
特記事項 29

[マ行]

メッセージ・リファレンス
 NZCC Connector 1

W

Web サイト
 IBM 以外 21



Printed in Japan

SC43-1005-00



日本アイ・ビー・エム株式会社
〒103-8510 東京都中央区日本橋箱崎町19-21